



ゆき逢ひ

鼓童の舞姫、小島千絵子の世界

坂口記念館

椿の庭園に囲まれ時を経てたたずむ、くびき地方の旧屋敷にて。

笛の響き、太鼓の鼓動、舞の吐息で満たされ醸しだされる芳醇な舞台に、
時を忘れ酔いしれるひとときをどうぞお楽しみください。

千絵子

小島 千絵子

西野 貴人

山口 幹文

2013年9月27日 金

開場18:00 開演18:30

会場:坂口記念館 ※定員100名

(新潟県上越市頸城区鶴ノ木148番地)

料 金:3,000円(当日3,500円)

出演者:小島千絵子(鼓童)、山口幹文(鼓童)、
西野貴人(BURAI)

申込先:坂口記念館 (TEL. 025-530-3100)

お問合せ = 宮澤 (TEL. 090-3104-4219)

主催 = 公益財団法人 鼓童文化財団 (TEL. 0259-81-4100)

「千絵子流女打ち集中講座」 合宿ワークショップ

お待たせしました。

ついに小島千絵子の太鼓合宿ワークショップが開かれます。

新潟県くびき地方の豊かな自然を満喫しつつ、初秋の山々を眺める池のほとりの施設に宿泊しながらの集中講座です。

まずは初日の晩、旧屋敷での「ゆき逢ひ」公演を楽しんで頂き、二日目から実技を一日半みっちり体験していただきます。踊り手の視点から太鼓を捉えた千絵子流のメソッドにて、分かり易く一人一人に向き合い、参加者の皆様との交流も交えながらの実りのある二泊三日のカリキュラムです。みなさまのご参加をお待ちしています。



2013年9月27日(金)ー29日(日) 2泊3日

- ◆ 参加費：40,000円 (参加費には、講師料の他、ゆき逢ひ鑑賞チケット、保険、宿泊、食費が含まれます。)
- ◆ 定員：20名 *最少催行人員10名です。
- ◆ 会場&宿泊：上越市・大池いこいの森ビジターセンター (新潟県上越市頸城区日根津116-1 / TEL. 025-530-3160)
- ◆ 申込方法：ファックスかEメールにて、氏名・性別・住所・電話・年齢を書いて、以下の担当宛にお送りください。
- ◆ 申込先：鼓童文化財団 担当 山中宛 (FAX. 0259-86-3631 / Email: zaidan@kodo.or.jp)
- ◆ 参加資格：高校生以上(性別不問) ただし、太鼓経験者に限ります。
- ◆ 締切り：2013年9月10日(火)

*合宿ワークショップの詳細は、申し込み後ご案内いたします。

◆ 合宿ワークショップスケジュール

9/27 (金)	食事=朝：× 昼：× 夜：○ 【15:40】(JR)直江津駅南口集合 【17:15】チェックイン@大池いこいの森ビジターセンター 【18:30】公演鑑賞「ゆき逢ひ」@坂口記念館 大池いこいの森ビジターセンター(泊)
9/28 (土)	食事=朝：○ 昼：○ 夜：○ 【9:30-17:30】終日ワークショップ 大池いこいの森ビジターセンター(泊)
9/29 (日)	食事=朝：○ 昼：○ 夜：× 【9:00-12:00】ワークショップ 【15:30】(JR)直江津駅解散

◎問合せ：鼓童文化財団 山中(TEL. 0259-81-4100)

◎主催：公益財団法人 鼓童文化財団

ゆき逢ひ 出演者プロフィール

踊り・太鼓／小島千絵子 Chieko Kojima

鼓童名誉団員。栃木県出身。1976年鼓童の前身の「佐渡の國鬼太鼓座」に入座、民俗舞踊の世界に出会う。鼓童の太鼓中心の舞台の中で、独自の舞踊の世界を切り拓くと共に、女性ユニット「花結」や、ソロ・パフォーマンス「ゆきあひ」などで意欲的に表現の場を拡げている。2006年「アマテラス」公演でアメノウズメを演じ鮮烈な印象を残した。2012年度文化庁文化交流使として、ヨーロッパ4ヶ国を訪問。自身の代表演目「花八丈」をモチーフにした、千絵子流女打ち講座は各地で好評を博している。

真笛／山口幹文 Motofumi Yamaguchi

鼓童名誉団員。茨城県出身。1980年鼓童の前身の「佐渡の國鬼太鼓座」に入座。笛を独学にて習得し、太鼓集団の中で確固たる笛の表現を確立。笛の他、各種旋律楽器の演奏や作曲、演出を担当。ハリウッド映画の音楽監督、演劇への楽曲提供等も行う。2009年、佐渡の真竹で作られた真笛(まこぶえ)の豊かな響きで、国内外の民謡からオリジナル曲まで幅広い演奏を収録したソロアルバム「一管風月」を発表。現在は鼓童の舞台活動に加え、アルバムと同タイトルの「一管風月」公演を精力的に行い、篠笛講座の講師も務める。

和太鼓／西野貴人 Takahito Nishino

小学生の時、コンガ奏者の小谷哲也氏に教わることから打楽器の音に魅せられ影響を受ける。和太鼓指導者だった父の元、演奏活動を始める。1994年「鼓童」の研修生として佐渡に渡り、1997年から2000年までメンバーとして国内・海外公演・CD制作に参加。退団後は和太鼓ユニット「BURA I」を立ち上げ、関西を中心に活動。和太鼓の持つ音楽性の幅を追求する為、ソロ和太鼓奏者としてジャンルを問わず様々な公演に参加している。

